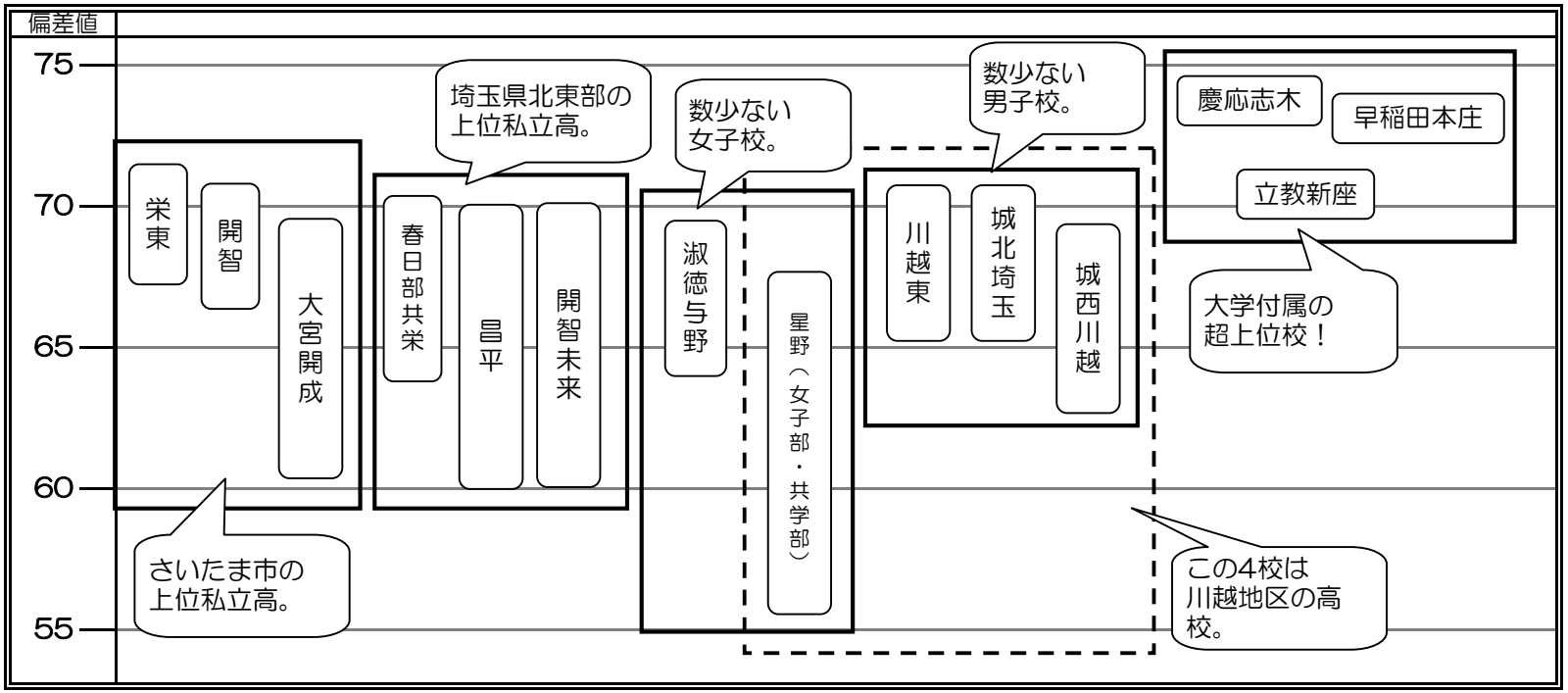
アップステ情報局
2015年
6月20日号
製作：アップステーション教務部

どこの私立高校を見に行けばいいですか？

今月から、アップステーションでは「保護者面談」が始まりました。特に中学３年生は部活も引退し受験勉強が本格化してくる時期だと思います。今後、夏から秋にかけて様々な学校で説明会が始まりますが、それを前によく「どこの私立高校を見に行けばいいですか？」というご質問を受けます。そこで今回は『どのくらいの偏差値の子が、どのような私立高校を見に行っているのか』お話ししたいと思います。

偏差値６０以上の子の候補になる私立高校



さいたま市にある「浦和一女・大宮・市立浦和」のような最上位校の子は『栄東・開智』を併願する子が多いです。埼玉県内の私立高校の大学合格実績を見ると、この２校が圧倒的な結果を出しています。

また、「蕨・浦和西・川口北」あたりになってくると『大宮開成』の併願が目立ってきます。

最近はすっかり男子校と女子校が少なくなりましたが、『川越東・城北埼玉・城西川越』といった男子校や『淑徳与野・星野女子部』といった女子校もまだまだ人気があります。とくに『川越東』は大宮からスクールバスがあること、『淑徳与野』はさいたま新都心へ校舎移転したこと、このような交通アクセスが良い学校は人気が高いです。

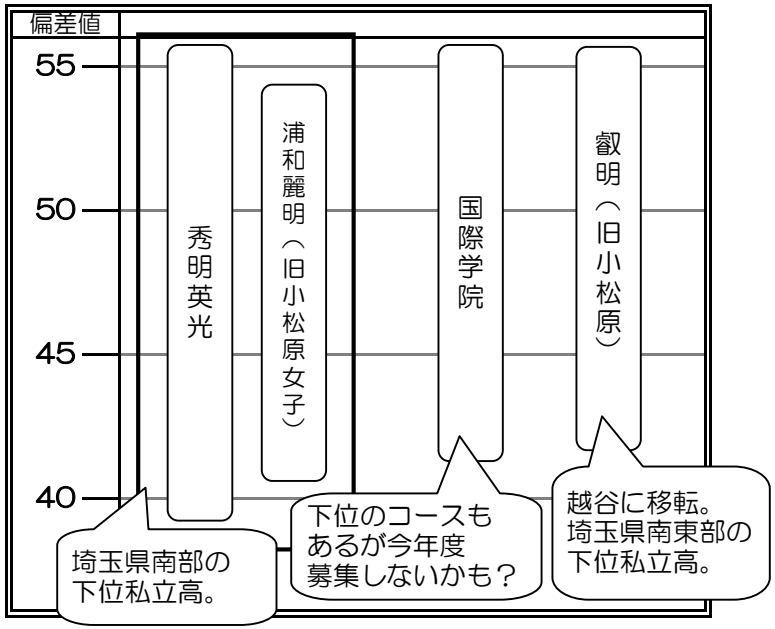
大宮より北東部になってくると、『春日部共栄・昌平・開智未来』も併願の候補に挙がってきます。主に「春日部・越谷北・不動岡」あたりを志願する子が併願にする子が多いです。春日部共栄は勉強以外にも吹奏楽部・野球部・水泳部など非常に部活が盛んな学校なので、部活を理由に志願する子が多いです。昌平は昨年度の高校サッカー選手権大会の埼玉県予選で優勝し、全国大会の出場を果たし、サッカー部の人気が高くなっています。

また、埼玉県には超上位の３つの大学付属の高校があります。早稲田本庄・慶応志木・立教新座の３校は、ほとんどの生徒がそのまま早稲田・慶応・立教へと内部進学する学校です。非常に人気の高い学校ですので、他にも、学校のレベルを少し下げて『奨学金』ねらいで選ぶ子や、埼玉県内ではなく都内の私立高校を併願にする子もいます。

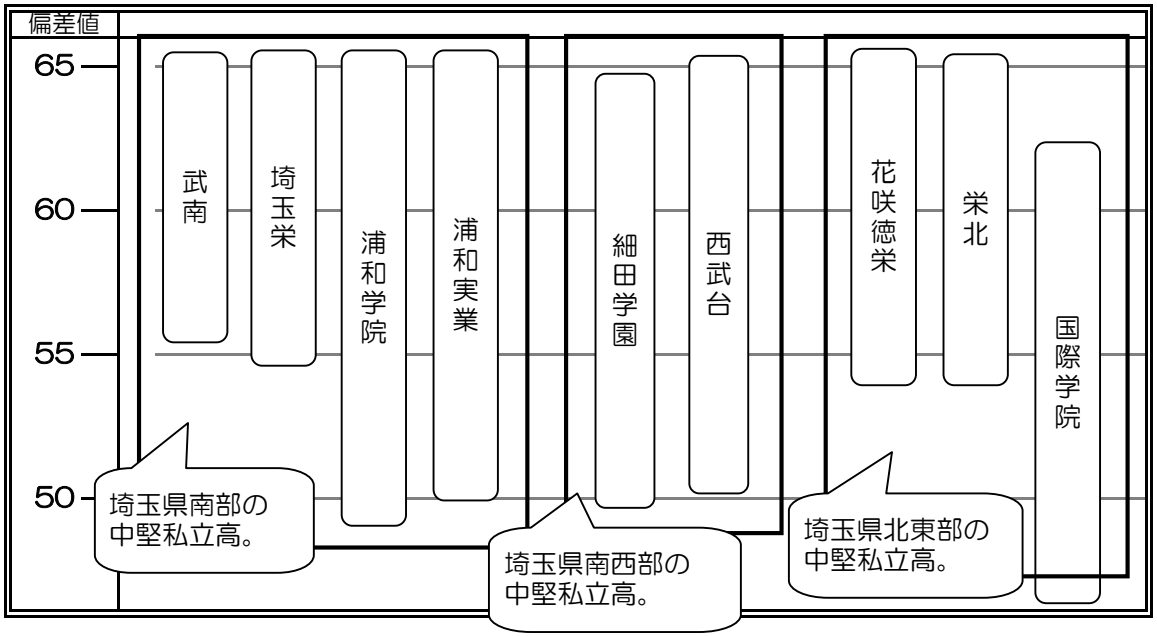
このように、成績上位の子は様々な選択肢をもって学校を選んでいるといえます。

★偏差値６０以上の成績上位生徒

偏差値５０未満の子の候補になる私立高校



偏差値５０～６０の子の候補になる私立高校



★偏差値５０～６０の成績中位生徒

埼玉県の多くの高校の特徴として、複数コース制をとっていることがあります。そのため、学校自体の選択肢が少ないというデメリットがあります。

例えば、さいたま市近辺だと『武南・埼玉栄・浦和学院・浦和実業』へさいたま市北部なら『栄北・国際学院』も）と存在するこの学校がすでに限られています。その中で偏差値によってコースを選ぶことになります。

埼玉県南西部なら『細田学園・西武台』、埼玉県北東部なら『花咲徳栄・栄北・国際学院』と限られた学校しかありません。

★偏差値５０未満の成績下位生徒

下位になると、完全に選択肢がなくなります。さいたま市近辺ならば『秀明英光』、県北東部になると『国際学院』といったようになります。

毎年、どうすればいいですかと相談を受けるのですが、どうすればいいでしょうもありません。北辰テストで「偏差値５０」をとる、またまたは「学校の内申で最低でもオール３」をとる、このどちらかをクリアしないと、選択肢を増やすことはできません。

また、国際学院は今年から中学１期生が高校１年生に上がる年でもあり、一番下のコースがなくなるのでは？という噂もありますが、ここ数年、下位の子には逆風しか吹いていないのが現状です。

●成績を上げて選択肢を広げよう！

学校選びをするときに、成績が高ければ高いほど選択肢は広がります。だいたい偏差値５０・５５・６０・６５と５刻みで壁があります。偏差値が４０代の子は５０前半の子は５５を超えていくと志望校の選択肢が広がります。

そのためにも、この夏

「限界のその先へ」

向かっていきましょう！